

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: R5年 3月 1日

事業所名 運動療育型児童デイぼうらの樹東住吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	広い空間を保てるようにしている	必要平米数は保てているので特に問題はない
	2	職員の配置数は適切である	6	1	業務分担をしっかりと行っている	利用人数、送迎の兼ね合いでスタッフ配置は適切な数を保つ
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	視覚的にわかりやすくシステム化している	利用者様の特性に合わせて安全に設備配置する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	業務の引継ぎ等は電子媒体で行っている	業務改善で負担軽減。児童の支援を手厚くする
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	いただいたご意見はすぐに共有し改善している	指摘部分の改善を行い続ける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	自社のホームページにて公表	透明度を高く持ち信頼を得る
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	定期的な研修の実施	末端の職員まで技術の落とし込み、実践を行う
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	面談を都度実施している	全ての方へのニーズに応えていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	評価表を用い適宜評価している	情報漏れがないように努める
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	毎月行事についての話し合いをしている。表の作成	利用者様満足度を高めるようにしていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	毎月行事についての話し合いをしている。表の作成	マンネリ化せず変化を起こし続けて楽しさを増やす
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	無駄のないようタイムスケジュール化している	マンネリ化せず変化を起こし続けて楽しさを増やす
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	時間を決めて支援内容を分けている	全ての方へのニーズに応えていく
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼にて1日の流れを確認している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	終礼にて1日の振り返りを行っている	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	ヒヤリハットを毎日記載している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う、ヒヤリハットは毎日記載する	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	定期的に面談を行って記録に残している	ご家族への聞き取りで振り返りをし、次の支援計画を立てて実行する	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0		ガイドラインに沿って子どもと向き合って支援を行う	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	6	参加した場合は記録に残す	情報共有で滞りなく児童への支援に繋げる
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	0	送迎時に情報共有を行い必要なことは事業所内で共有	情報漏れがないように努める
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		情報共有をして間違った支援をしないようにする
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3	中学時代から進路に向けた取り組みをしている	利用者様とご家族が進路を安心して行えるよう早い段階から先の話をして計画を立て実行する
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7		必要に応じて取り組んでいく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	6		部会の参加は積極的に行っていきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7	0	電子媒体、ケース記録にて情報の共有をしている	情報漏れがないように努める
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	7		必要に応じて取り組んでいく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0		契約時にお伝えし都度不明点があればお伺いする
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	電話以外にも電子媒体を使い連絡の取りやすい状況を作っている	なにかあればすぐに解決に向けて取り組む
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		必要に応じて交流機会を作る
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	電話以外にも電子媒体を使い連絡の取りやすい状況を作っている	なにかあればすぐに解決に向けて取り組む
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	広報誌の作成、配布を行っている	さまざまな角度から当法人のことを周知する
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付き書庫にて保管	情報漏洩にならないようにする
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	電子媒体、ケース記録にて情報の共有をしている	情報漏れがないように努める
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	クリーンアップに参加している	地域の方との交流で良い街作りの一役を担えればと思う

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	すぐに見れるようにしている	緊急時、円滑に行動を起こせるようにする
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年2回避難訓練を行っている	実際に災害が起こった時に落ち着いて行動する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	定期的に研修を行っている	職員の無意識化に働きかけ虐待0を保つ
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	必要に応じて支援計画書に記載している	虐待や誤解のないように周知徹底をしたうえで支援する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	一覧表を作り共有を行っている	アレルギーによる事故を出さない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	ヒヤリハットを毎日記載している	常に安全の意識を持ち事故のない事業所の構築を行う、ヒヤリハットは毎日記載する